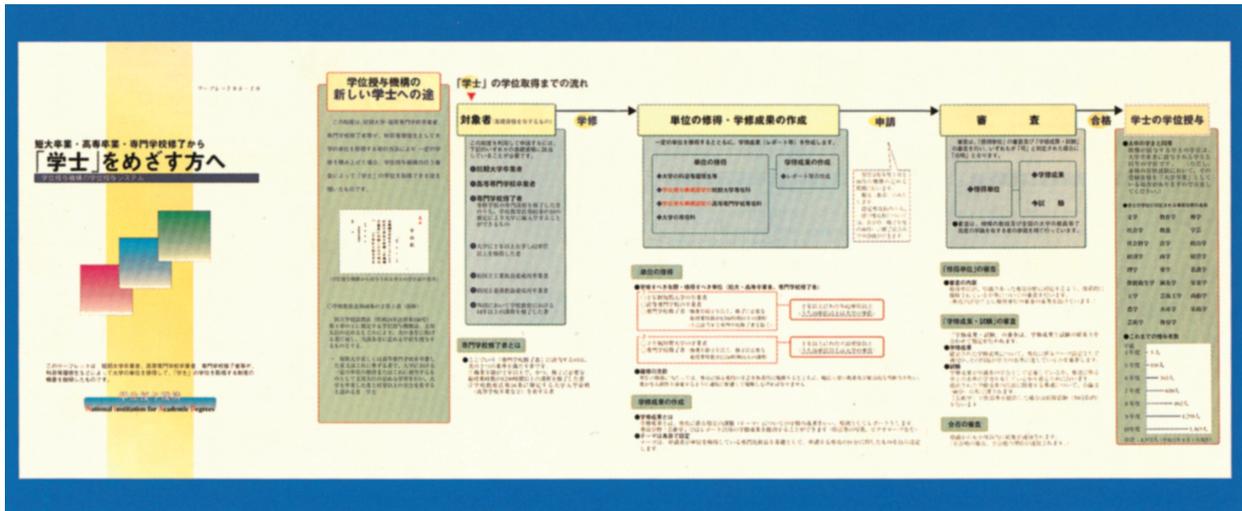


学位授与機構ニュース

National Institution for Academic Degrees

第 17 号

平成 11 年 8 月発行



★学士の学位授与システムをわかりやすく説明したリーフレット（平成11年度版）★

目次

◆学位の申請・授与等の状況

- 短大・高専卒業者、専門学校修了者等に対する学士の学位授与関係
 - 平成10年度10月期の学士の学位授与状況… 2
 - 専門学校修了者への基礎資格の付与 …… 3
 - 平成11年度4月期の学士の学位授与申請状況… 3
 - 修得単位の審査基準の策定 …… 4
- 認定課程（各省庁所管大学校）修了者に対する学位授与関係
 - 認定課程修了者の博士の学位授与状況 … 5
 - 認定課程修了者の学士の学位授与状況 … 5
 - 認定課程修了者の修士の学位授与申請状況 … 5
- 認定専攻科・認定課程関係
 - 短期大学及び高等専門学校専攻科の認定状況 … 6
 - 専攻科認定の再審査 …… 6

- 課程認定の再審査 …… 6
- 認定専攻科の教育の実施状況等の審査 … 7
- これまでの学位授与・専攻科認定の状況 … 9

◆機構の窓

- 大学評価機関（仮称）の創設準備 …… 11
- 「学位研究」第10号を発行 …… 11
- 平成11年度学位授与機構審査スケジュール… 12
- 会議の開催状況 …… 13
- 委員の異動 …… 16
- 人事異動 …… 20

◆すずかけ散策

- 審査研究部 教授 小野 嘉夫 …… 22
- 審査研究部 教授 六車 正章 …… 23
- 審査研究部 教授 吉川 裕美子 …… 24

◆学位授与機構教職員名簿 …… 25



学位の申請・授与等の状況



■短大・高専卒業生、専門学校修了者等に対する学士の学位授与関係

○1,062人に学士の学位を授与 —平成10年度10月期—

平成10年度10月期に学士の学位授与申請のあった短期大学・高等専門学校卒業生等1,199人のうち、1,062人に対し学士の学位が授与されました。

今回の学士の学位授与については、関係各専門

委員会で行われた修得単位の審査及び学修成果・試験の審査の結果に基づき、平成11年2月9日（火）開催の審査会において審査が行われました。

<平成10年度10月期申請者数及び授与者数>

専攻分野	専攻の区分	申請者数	授与者数
文 学	国語国文学	12人	11人
	英語・英米文学	9	5
	仏語・仏文学	3	3
	歴史学	2	2
	哲学	1	1
	心理学	2	1
	宗教学	6	3
教育学	教育学	84	81
社会学	社会学	2	2
	社会福祉学	2	2
教 養	比較文化	1	1
	地域研究	18	9
	国際関係	1	1
	科学技術研究	2	2
学 芸	比較文化	1	1
	地域研究	3	3
社会科学	社会科学	2	1
法学	法学	5	5
政治学	政治学	1	1
商 学	商 学	8	3
経営学	経営学	2	2
理 学	数学・情報系	1	0
	物理学・地学系	1	1
	総合理学	1	0

看護学	看護学	96人	71人
保健衛生学	検査技術科学	32	31
	放射線技術科学	56	55
	理学療法学	21	21
	作業療法学	18	17
鍼灸学	鍼灸学	1	1
栄養学	栄養学	113	102
工 学	機械工学	141	131
	電気電子工学	145	124
	情報工学	31	31
	応用化学	47	45
	生物工学	4	4
	材料工学	16	14
	土木工学	31	29
	建築学	20	19
芸術工学	芸術工学	24	23
家政学	家政学	3	3
芸術学	音楽	39	36
	美術	185	158
体育学	体育学	6	6
合 計		1,199	1,062

○**専門学校修了者に基礎資格を付与** —平成11年度から—

「学位規則」(昭和28年4月1日文部省令第9号)及び「学位規則第6条第1項の規定に基づく学士の学位の授与に関する規程」(平成4年1月14日規程第5号)の一部改正により、平成11年4月1日から「専門学校修了者」に対しても、短期大学・高等専門学校卒業者等と同様に、一定の学修を積み上げたうえで学士の学位を申請する途が開かれました。

なお、ここでいう「専門学校修了者」とは、専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第82条の10の規定により大学に編入学できるものを行い、これには①修業年限が2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の課程を修了したものであること。②学校教育法第56条に規定する大学入学資格を有する者であること。以上の基準を満たす者が該当します。

○**申請者数は397人** —平成11年度4月期—

短期大学・高等専門学校卒業生及び専門学校修了者等からの平成11年度4月期の学位授与申請受付の結果、18専攻分野32専攻区分にわたる397人から申請がありました。これは前年同期の申請者数(平成10年4月期364人)と比べ、33人の増加となっています。

＜平成11年度4月期の申請者数(専攻区分別)＞

今回申請のあった397人については、平成11年5月11日(火)開催の審査会において機構長から学位授与の可否についての審査が付託され、審査会では、修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を担当する専門委員会を指定、平成11年6月20日(日)に東京大学及び大阪大学の2か所で試験が行われました。

専攻分野	専攻の区分	申請者数
文 学	国 語 国 文 学	8人
	英 語 ・ 英 米 文 学	5
	心 理 学	3
教 育 学	教 育 学	21
社 会 学	社 会 福 祉 学	2
教 養 学 芸	地 域 研 究	1
	地 域 研 究	1
社 会 科 学	社 会 科 学	1
法 学	法 学	1
経 済 学	経 済 学	4
商 学	商 学	7
理 学	数 学 ・ 情 報 系	1
	化 学 系	1
	生 物 学 系	1
	総 合 理 学	2
看 護 学	看 護 学	104
保 健 衛 生 学	検 査 技 術 科 学	29
	放 射 線 技 術 科 学	98
	理 学 療 法 学	15
	作 業 療 法 学	16
鍼 灸 学	鍼 灸 学	9
栄 養 学	栄 養 学	10
工 学	機 械 工 学	8
	電 気 電 子 工 学	10

各専門委員会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、平成11年9月末までに、学士の学位が授与される予定です。

＜平成11年度4月期の申請者数(基礎資格別)＞

基 礎 資 格	申 請 者 数
短期大学卒業生	336人
高等専門学校卒業生	15
専門学校修了者	22
大学中退者	13
飛 級	3
大学卒業生	6
旧国立工業教員養成所卒業生	1
旧国立養護教諭養成所卒業生	1
合 計	397

	応用化学	6人
	材料工学	3
	土木工学	2
	建築学	1
家政学	家政学	6
芸術学	音楽	6
	美術	14
体育学	体育学	1
合計		397

○「ロシア語・ロシア文学」の修得単位の審査基準を策定

これまで未設定であった専攻分野「文学」の専攻の区分「ロシア語・ロシア文学」の修得単位の審査

基準が平成11年2月9日（月）開催の審査会における審議の結果、下記のとおり策定されました。

専攻の区分	専攻に係る授業科目の区分及び修得すべき単位数（62単位以上）		専攻分野の名称
ロシア語・ロシア文学	専門的科目（40単位以上）		文学
	【A群】 （36単位以上） ○ロシア語科目 ○ロシア語学に関する科目 ○ロシア文化に関する科目 【B群】 ○ロシア以外のスラブ圏の語（学） ・文学・文化に関する科目	左のA群の区分のうちから「ロシア語科目」の区分を含み3区分以上にわたること	
	専門関連科目（4単位以上）		
	◇スラブ圏以外の西洋文学・文化に関する科目 ◇日本文学・文化に関する科目 ◇スラブ語以外の外国語に関する科目 ◇言語学・言語教育に関する科目 ◇比較文化に関する科目 ◇スラブ圏以外の地域研究に関する科目 ◇国際関係に関する科目		

■認定課程（各省庁所管大学校）修了者に対する学位授与関係

○17人に博士の学位を授与

－大学院博士課程相当の課程修了者－

平成10年9月に博士の学位授与申請のあった防衛医科大学校医学教育部医学研究科の修了者17人全員に博士（医学）の学位が授与されました。

医学・薬学専門委員会医学部会での論文の審査及び試験の結果に基づき、平成11年2月9日（火）開催の審査会で審査の結果、学位授与が決定されたもので、平成11年3月5日（金）には学位記授与式が行われ、木村機構長から、被授与者に対しお祝いと温かい激励の言葉が贈られました。

＜博士（医学）の学位申請者数及び授与者数＞

認定課程名	専攻分野	申請者数及び授与者数
防衛医科大学校 医学教育部医学研究科	医学	17人

○940人に学士の学位を授与

－学部相当の課程修了者－

大学の学部に対応する教育を行う課程として認定された課程の平成11年3月修了者から学士の学位授与の申請があり、平成11年3月16日（火）開催の審査会における審査の結果、940人の申請者全員に学士の学位が授与されました。

＜学士の学位授与申請者数及び授与者数＞

認定課程名	専攻分野	申請者数及び授与者数
防衛大学校本科	理学	28人
	工学	310
	社会科学	93
	計	431
防衛医科大学校 医学教育部医学科	医学	67
水産大学校本科	水産学	178
海上保安大学校本科	海上保安	42
気象大学校大学部	理学	14
職業能力開発大学校 長期課程	工学	208
合計		940

○120人から修士の学位授与の申請

－大学院修士課程相当の課程修了者－

大学院の修士課程に相当する教育を行う課程として認定されている課程の平成11年3月修了者から、修士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、平成11年5月11日（火）開催の審査会において機構長から審査の付託があり、これを受けて論文の審査及び口頭試問を担当する専門委員会として、理学、工学・芸術工学、社会科学及び水産学専門委員会が指定されました。

各専門委員会における論文の審査及び口述による試験を経て、平成11年9月ごろまでに、修士の学位が授与される予定です。

＜修士の学位授与申請者数＞

認定課程名	専攻分野	申請者数
防衛大学校 理工学研究科	理学	8人
	工学	57
防衛大学校 総合安全保障研究科	社会科学	21
職業能力開発大学校 研究課程	工学	21
水産大学校 水産学研究科	水産学	13
合計		120

■認定専攻科・認定課程関係

○新たに11専攻を認定 —平成11年度—

平成10年9月に申出のあった短期大学及び高等専門学校の特攻科の認定について、専攻科の教育課程及び教員組織等の審査を付託された各専門委員会の審査の結果が、平成11年2月9日（火）開催の審査会に報告されました。その報告に基づく審査の結果、審査会は右の14校18専攻を平成11年度から認定することが適当と判断し機構長に報告、機構長はその旨決定し専攻科の設置者等に通知しました。

○専攻科認定の再審査 —八代工業高等専門学校—

教育課程等についての重要な変更と認められる学則の変更予定を届け出た八代工業高等専門学校専攻科の生産情報工学専攻及び生物工学専攻について、平成11年2月9日（火）開催の審査会における再審査の結果、専攻科認定が適当と判定され、機構長はその旨決定し、同高等専門学校長あて通知しました。

○課程認定の再審査 —水産大学校本科—

平成8年度の改組に伴い課程認定の再審査を行った水産大学校本科のうち、平成11年度の開講時に再審査を行うこととなっていた水産情報経営学科について、関係各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成11年2月9日（火）開催の審査会は同科を大学学部と同等の水準にあると認め機構長に報告し、機構長は認定を決定し平成11年3月に水産大学校長にその旨通知しました。

1. 短期大学専攻科

	専攻科名	専攻名	修業年限	設置者	適用時期
1	東北大学医療技術短期大学部専攻科	助産学特別専攻	1年	国	平成11年4月1日
2	奈良県立医科大学看護短期大学部専攻科	助産学専攻	1年	奈良県	〃
3	札幌国際大学短期大学部専攻科	幼児教育専攻	2年	学校法人札幌国際大学	〃
4	尚綱女学院短期大学専攻科	食物栄養専攻	2年	学校法人尚綱女学院	〃
5	自治医科大学看護短期大学専攻科	助産学専攻	1年	学校法人自治医科大学	〃
6	十文字学園女子短期大学専攻科	英文専攻	1年	学校法人十文字学園	〃
7	昭和女子大学短期大学部専攻科	食物科学専攻	1年	学校法人昭和女子大学	〃
8	東京成徳短期大学専攻科	幼児教育専攻	1年	学校法人東京成徳学園	〃
9	日本大学短期大学部専攻科	食物栄養専攻	2年	学校法人日本大学	〃
10	夙川学院短期大学専攻科	美術専攻	2年	学校法人夙川学院	〃
11	広島文化女子短期大学専攻科	栄養専攻	2年	学校法人広島文化学園	〃

2. 高等専門学校専攻科

	専攻科名	専攻名	修業年限	設置者	適用時期
1	旭川工業高等専門学校専攻科	生産システム工学専攻	2年	国	平成11年4月1日
2		応用化学専攻			
2	小山工業高等専門学校専攻科	電気システム工学専攻	2年	国	〃
3		物質工学専攻			
4		建築学専攻			
3	高松工業高等専門学校専攻科	機械電気システム工学専攻	2年	国	〃
4		建設工学専攻			

○認定専攻科の教育の実施状況等の審査

学位授与機構の認定を受けた短期大学及び高等専門学校専攻科は、認定以後5年ごとに教育の実施状況等についての審査を受けることとされています。

平成10年度は平成5年4月1日認定の専攻科に係る審査が行われ、機構発足以来2回目の審査となりました。

各専門委員会における教育課程及び教員組織等についての審査結果に基づき、平成11年2月9日(火)開催の審査会において教育の実施状況等の適否について審査が行われ、審査対象となった25校34専攻(短期大学専攻科21校26専攻、高等専門学校専攻4校8専攻)全てが「適」と判定され、機構長はその旨専攻科の設置者等に通知しました。

<平成10年度教育の実施状況等の審査結果一覧>

1. 短期大学専攻科

	専攻科名	専攻名	入学定員	修業年限	設置者	審査結果
1	名古屋大学医療技術短期大学部専攻科	助産学特別専攻	20	1年	国	適
2	京都大学医療技術短期大学部専攻科	助産学特別専攻	20	1年	国	適
3	徳島大学医療技術短期大学部専攻科	助産学特別専攻	20	1年	国	適
4	鹿児島大学医療技術短期大学部専攻科	助産学特別専攻	20	1年	国	適
		地域看護学特別専攻	20	1年		適
5	東京都立医療技術短期大学専攻科	地域看護学専攻	40	1年	東京都	適
6	三重県立看護短期大学専攻科	地域看護学専攻	30	1年	三重県	適
		助産学専攻	15	1年		適
7	白鷗大学女子短期大学部専攻科	幼児教育専攻	20	1年	学校法人 白鷗大学	適
8	埼玉女子短期大学専攻科	商学専攻	20	2年	学校法人	適
		英語専攻	20	2年	川口学園	適
9	城西大学女子短期大学部専攻科	日本文学専攻	15	1年	学校法人	適
		英米文学専攻	15	1年	城西大学	適
10	聖徳大学短期大学部専攻科	服飾文化専攻	10	2年	学校法人	適
		食生活専攻	10	2年	東京聖徳学園	適
11	恵泉女学園短期大学専攻科	園芸学専攻	15	1年	学校法人 恵泉女学園	適
12	成城大学短期大学部専攻科	教養専攻	30	1年	学校法人 成城学園	適
13	昭和音楽大学短期大学部専攻科	音楽専攻 (器楽)	10	1年	学校法人 東成学園	適
		音楽専攻 (声楽)	10	1年		

	専攻科名	専攻名	入学定員	修業年限	設置者	審査結果
14	常葉学園短期大学専攻科	音楽専攻	20	2年	学校法人 常葉学園	適
15	光陵女子短期大学専攻科	国際教養学専攻	15	1年	学校法人 栗本学園	適
16	名古屋女子大学短期大学部専攻科	生活学専攻	20	1年	学校法人 名古屋女子大学	適
17	関西国際大学短期大学部専攻科	コミュニケーション 専攻	20	2年	学校法人 濱名学院	適
18	兵庫大学短期大学部専攻科	美術デザイン専攻	20	1年	学校法人 睦学園	適
19	香川県明善短期大学専攻科	食物専攻	30	1年	香川県 明善学園	適
20	産業医科大学医療技術短期大学専攻科	産業看護学・ 地域看護学専攻	15	1年	学校法人 産業医科大学	適
21	別府大学短期大学部専攻科	福祉専攻	25	1年	学校法人 別府大学	適

2. 高等専門学校専攻科

	専攻科名	専攻名	入学定員	修業年限	設置者	審査結果
1	仙台電波工業高等専門学校専攻科	電子システム工学 専攻	8	2年	国	適
		情報システム工学 専攻	8	2年		適
2	富山工業高等専門学校専攻科	機械・電気システム 工学専攻	8	2年	国	適
		機能材料工学専攻	8	2年		適
3	鈴鹿工業高等専門学校専攻科	電子機械工学専攻	12	2年	国	適
		応用物質工学専攻	8	2年		適
4	久留米工業高等専門学校専攻科	機械・電気システム 工学専攻	12	2年	国	適
		物質工学専攻	8	2年		適

■学位授与・専攻科認定のこれまでの状況

○学位授与の状況

1. 短期大学・高等専門学校卒業等が大学等においてさらに一定の学修を行った場合の学士の学位の授与（学位規則第6条第1項）

＜平成4年10月期～平成10年10月期申請分＞

専攻分野	専攻の区分	授与者数
文 学	国語国文学	43人
	英語・英米文学	51
	独語・独文学	2
	仏語・仏文学	5
	歴史学	6
	哲学	2
	心理学	8
	宗教学	30
教育学	教育学	201
神学	神学	5
社会学	社会学	8
	社会福祉学	23
教 養	比較文化	2
	地域研究	24
	国際関係	2
	科学技術研究	4
学 芸	比較文化	2
	地域研究	5
	国際関係	1
社会科学	社会科学	1
法学	法学	20
政治学	政治学	4
経済学	経済学	14
商学	商学	20
経営学	経営学	24

専攻分野	専攻の区分	授与者数
理 学	数学・情報系	7人
	物理学・地学系	4
	化学系	4
	生物学系	8
	総合理学	1
看護学	看護学	532
保健衛生学	検査技術科学	233
	臨床工学	1
	放射線技術科学	364
	理学療法学	137
	作業療法学	118
鍼灸学	鍼灸学	6
栄養学	栄養学	231
工 学	機械工学	419
	電気電子工学	450
	情報工学	104
	応用化学	179
	生物工学	13
	材料工学	92
	土木工学	112
	建築学	56
芸術工学	芸術工学	50
農学	農学	1
家政学	家政学	30
芸術学	音楽	235
	美術	667
体育学	体育学	11
合 計		4,572

2. 学位授与機構が認定する教育施設の課程修了者に対する学士、修士及び博士の学位授与（学位規則第6条第2項）

(1) 学士（大学の学部に対応する教育を行う課程）
 <平成3年度～平成10年度>

認定課程名	専攻分野	授与者数
防衛大学校本科	理学	199人
	工学	2,397
	社会科学	510
	計	3,106
防衛医科大学校 医学教育部医学科	医学	521
水産大学校本科	水産科	1,363
海上保安大学校本科	海上保安	329
気象大学校大学部	理学	109
職業能力開発大学校 長期課程	工学	1,766
合 計		7,194人

(2) 修士（大学院の修士課程に相当する教育を行う課程）

<平成4年度～平成10年度>

認定課程名	専攻分野	授与者数
防衛大学校 理工学研究科	理学	24人
	工学	440
	計	464
職業能力開発大学校 研究課程	工学	139
水産大学校 水産学研究科	水産学	26
合 計		629人

(3) 博士の学位授与（大学院の博士課程に相当する教育を行う課程）

<平成3年度～平成10年度>

認定課程名	専攻分野	授与者数
防衛医科大学校 医学教育部医学研究科	医学	112人

○短期大学及び高等専門学校専攻科の認定状況

区 分	年 度 別 認 定 専 攻 数									平成11年度 現在認定 専攻数	入学定員
	平成 4年度	平成 5年度	平成 6年度	平成 7年度	平成 8年度	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度			
短 期 大 学 専 攻 科	文 学	4(1)	8(1)	3(1)	8(6)	3(1)			1	21(10)	350(160)
	教 育 学	1	5	8(2)	2(1)	4(2)	5(4)	4(3)	2(1)	24(13)	405(250)
	社 会 学	3	2(1)	1	1					7(1)	230(20)
	教 養		2	1	1(1)	1(1)	2(1)			7(3)	155(40)
	経済・商学・経営		1(1)		2(1)	1	1(1)			5(3)	76(46)
	看 護 学	8	9	2	1	2		4	3	28	625(0)
	保 健 衛 生 学				1	1				2	40(0)
	鍼 灸 学							1		1	10(0)
	家政学・栄養学	2	8(2)	4	7(4)	8(5)	4(2)	4(1)	4(3)	33(17)	470(280)
	工学・芸術工学				3(3)	1(1)		1(1)		5(5)	63(63)
	農 学		1					1(1)		2(1)	23(8)
	芸 術 学	10(8)	4(1)	1(1)	1	3(2)		4(4)	1(1)	21(17)	505(380)
	体 育 学				1(1)					1(1)	20(20)
そ の 他	1								0	0(0)	
計	20校 29専攻 (9)	29校 40専攻 (6)	15校 20専攻 (4)	21校 28専攻 (17)	22校 24専攻 (12)	12校 12専攻 (8)	17校 19専攻 (10)	11校 11専攻 (5)	102校 157専攻 (71)	2,972 (1,257)	
高等 専門 学校 専攻 科	2校 5専攻 (5)	4校 8専攻 (8)	3校 8専攻 (8)	3校 7専攻 (7)	5校 11専攻 (11)	3校 7専攻 (7)	4校 8専攻 (8)	3校 7専攻 (7)	27校 61専攻 (61)	476 (476)	
合 計	22校 34専攻 (14)	33校 48専攻 (14)	18校 28専攻 (12)	24校 35専攻 (24)	27校 35専攻 (23)	15校 19専攻 (15)	21校 27専攻 (18)	14校 18専攻 (12)	129校 218専攻 (132)	3,448 (1,733)	

(注1) () 内は、2年制の専攻科で内数である。

(注2) 「平成11年度現在認定専攻数」欄の学校及び専攻科数については、実数を記載（同一の学校が他の専攻科の認定を受けたこと、修業年限1年の専攻を廃止して修業年限2年の専攻科を設置し新たに認定（平成11年度認定）したこと及び専攻科を廃止したこと等により単純に累計としない）。

機 構 の 窓

大学評価機関（仮称）の創設準備

大学審議会答申「21世紀の大学像と今後の改革方針について」（平成10年10月）により、大学評価のための第三者機関の設置が提言されたことを受け、平成11年度において、大学評価機関（仮称）の創設準備を行うこととなり、「大学評価機関（仮称）の創設準備組織要項」（平成11年4月1日付け文部大臣裁定）に基づき、本機構に大学評価機関（仮称）創設準備室及び大学評価機関（仮称）創設準備委員会が設置されました。

「学位研究」第10号を発行

学位授与機構における調査研究の成果として、「学位研究」第10号を刊行しました。内容は次のとおり。

○論文：

- ・アメリカの大学における実務重視型教育と学位授与の事例研究 齋藤安俊
- ・アメリカにおける工学系の関与する同時2学位授与 齋藤安俊
- ・アメリカにおける学外学位課程の動向 江原武一
- ・ニュージャージー州学外学位機関・トーマスエジソン州立大学の仕組みと意義 舘 昭
- ・アメリカにおける学外学位授与機関（2）
ーチャーターオーク州立大学とコネチカット州高等教育システムー 橋本鉦市
- ・リージェント大学における評価のシステム ー学習とクレジットの評価を中心にー 森 利枝
- ・経験学習と単位の認定 ーポートフォリオ形式による経験学習評価制度ー 山田礼子
- ・ロンドン大学学外課程の仕組みと動向 ー法学学位を事例としてー 安原義仁
- ・イギリスにおける学外学位制度の発展とその意義 ー歴史家の視点からー ロイ・ロウ（安原義仁 訳）
- ・A Framework for Examining the Costs of Instructional Technology（高等教育における情報技術教育利用のコスト評価の枠組み） Frank A. Schmidtlein（フランク・シュミットライン）

○研究ノート・資料：

- ・トーマス・エジソン州立大学 ー成人学習者に25年間奉仕してきたバーチャル・ユニバーシティーー
ジェリー・アイス（舘 昭 要約）

平成11年度学位授与機構審査スケジュール

区分	学士の学位授与 (6条1項関係)	専攻科関係 ●：認定関係 ◎：レビュー関係	各省庁大学校関係 (◎：レビュー関係)
4月	4月申請受付 (4/7まで)	●認定済専攻科から状況報告書の提出 (学年度開始2か月以内)	課程修了者 (修士相当課程から申請受付 (課程修了後1か月以内))
5月	審査会 (5月11日 (火))		
	○専門委員会 (5/24～6/4) 修得単位の審査 審査担当委員の決定等 試験問題の校正	◎専攻科の概要等の提出締切 (5/31まで)	○専門委員会 (～8月上旬) 審査担当委員の決定等 口頭試問の実施
6月	試験実施 (6/20)		
7月	○専門委員会 (7/12～8/6) 学修成果・試験の審査 総合判定		
8月	審査会 (8月27日 (金))		
	学士の学位授与 (8月下旬)	◎専攻科の教員調書等及び審査書類提出通知 (8/31まで)	
9月		●専攻科の認定申出 (9/30まで) ◎次年度レビューの通知 (9/30まで)	課程修了者 (博士相当課程)から申請受付 (課程修了後1か月以内) 修士の学位授与 ◎次年度レビューの通知 (9/30まで)
10月	10月期申請受付 (10/1～10/7)	◎専攻科の教員調書及び審査書類提出締切 (10/31まで)	
11月	審査会 (11月上旬)		
	○専門委員会 (11月下旬～12月上旬) 修得単位の審査 審査担当委員の決定等	●◎専門委員会 (～1月下旬) 教員等の審査	○専門委員会 (～12月下旬) 審査担当委員の決定等 口頭試問の実施
12月	試験問題の校正 面接試験実施 (12/12) 小論文試験実施 (12/19)		
1月	○専門委員会 (1月中旬～2月上旬) 学修成果・試験の審査 総合判定		○専門委員会 (1月下旬) 可否の判定
2月	審査会 (2月中旬)		
	学士の学位授与 (～3月下旬)		博士の学位授与 課程修了者 (学部相当課程)から学士の申請受付 (課程修了後1か月以内)
3月	審査会 (3月中旬)		
			学士の学位授与

会議の開催状況

評議員会

第17回 平成11年2月22日（月）

・議事

- (1) 事業の実施状況等について
- (2) その他

第18回 平成11年7月19日（月）

・議事

- (1) 事業の実施状況等について
- (2) 「単位累積加算制度」による学位授与制度に関する調査研究について
- (3) その他

運営委員会

第26回 平成11年3月8日（月）

・議事

- (1) 教官の人事について
- (2) 審査委員及び専門委員について
- (3) 事業の実施状況等について
- (4) 大学評価機関の設置について
- (5) 独立行政法人化の問題について
- (6) その他

第27回 平成11年6月14日（月）

・議事

- (1) 教官の人事について
- (2) 専門委員について
- (3) 平成11年度学位授与関係主要事業計画（案）について
- (4) 事業の実施状況について
- (5) 大学評価機関（仮称）創設準備について
- (6) 独立行政法人化の問題について
- (7) その他

審査会

第43回 平成11年2月9日（火）

・議事

- (1) 学位規則第6条第1項に規定する学士の学位授与の審査について
- (2) 認定課程修了者に係る博士の学位授与の審査について
- (3) 短期大学及び高等専門学校専攻科の認定の可否について
- (4) 八代工業高等専門学校専攻科の再審査について
- (5) 水産大学校本科の改組に伴う再審査について
- (6) 教育の実施状況等の審査について
（短期大学・高等専門学校の認定専攻科分）
- (7) 学士の学位授与に係る修得単位の審査基準について
- (8) その他

第44回 平成11年3月16日（火）

・議事

- (1) 認定課程修了予定者に係る学士の学位授与の審査について
- (2) 認定課程修了者に係る修士の学位授与の申請予定について
- (3) 専門委員会の設置に関する申合せについて
- (4) 平成11年度審査スケジュールについて
- (5) その他

第45回 平成11年5月11日（火）

・議事

- (1) 学位規則第6条第1項に規定する学士の学位授与の審査の付託について
- (2) 認定課程修了者に係る修士の学位授与の審査の付託について
- (3) その他

専門委員会

<平成10年11月～平成11年1月>

1. 審査事項

- ① 平成10年度10月期の短期大学・高等専門学校卒業等からの学士の学位授与申請に係る審査
- ② 認定課程修了者からの博士の学位授与申請に係る審査
- ③ 短期大学及び高等専門学校の専攻科の認定に係る審査
- ④ 短期大学及び高等専門学校の認定専攻科の教育の実施状況等の審査
- ⑤ 各省庁大学校の教育の実施状況等の審査

2. 開催回数

文学・神学専門委員会		看護学・保健衛生学・鍼灸学専門委員会	
(国語・国文学部会)	2回	(看護学部会)	2回
(英語・英米文学部会)	2回	(検査技術科学部会)	1回
(仏語・仏文学部会)	2回	(放射線技術科学部会)	1回
(歴史学部会)	1回	(理学・作業療法学部会)	1回
(哲学部会)	1回	(鍼灸学部会)	1回
(心理学部会)	1回	家政学・栄養学専門委員会	
(宗教学部会)	1回	(家政学部会)	1回
(ロシア語・ロシア文学部会)	1回	(栄養学部会)	2回
教育学専門委員会	2回	工学・芸術工学専門委員会	
社会学専門委員会		(機械工学部会)	2回
(社会学部会)	2回	(電気電子工学部会)	2回
(社会福祉学部会)	1回	(情報工学部会)	2回
教養・学芸専門委員会	2回	(応用化学部会)	2回
社会科学専門委員会	1回	(材料工学部会)	2回
法学・政治学専門委員会	1回	(土木工学部会)	2回
経済学・商学・経営学専門委員会	1回	(建築学部会)	2回
理学専門委員会		(造形工学・芸術工学部会)	1回
(数学・情報系部会)	2回	農学専門委員会	1回
(物理学・地学系部会)	2回	水産学専門委員会	1回
医学・薬学専門委員会		芸術学専門委員会	
(医学部会)	1回	(音楽部会)	2回
		(美術部会)	2回
		体育学専門委員会	1回

<平成11年5月～平成11年8月>

1. 審査事項

- ① 平成11年度4月期の短期大学・高等専門学校卒業生、専門学校修了者等からの学士の学位授与申請に係る審査
- ② 認定課程修了者からの修士の学位授与申請に係る審査

2. 開催回数

文学・神学専門委員会		看護学・保健衛生学・鍼灸学専門委員会	
（国語・国文学部会）	1回	（看護学部会）	2回
（英語・英米文学部会）	1回	（検査技術科学部会）	1回
（心理学部会）	1回	（放射線技術科学部会）	1回
（中国語・中国文学部会）	1回	（理学・作業療法学部会）	1回
教育学専門委員会	1回	（鍼灸学部会）	1回
社会学専門委員会		家政学・栄養学専門委員会	
（社会福祉学部会）	1回	（家政学部会）	2回
教養・学芸専門委員会	1回	（栄養学部会）	2回
社会科学専門委員会	1回	工学・芸術工学専門委員会	
法学・政治学専門委員会	1回	（機械工学部会）	1回
経済学・商学・経営学専門委員会	2回	（電気電子工学部会）	1回
理学専門委員会		（応用化学部会）	2回
（数学・情報系部会）	1回	（材料工学部会）	1回
（物理学・地学系部会）	1回	（土木工学部会）	1回
（化学系部会）	1回	（建築学部会）	1回
（生物学系部会）	1回	芸術学専門委員会	
		（音楽部会）	1回
		（美術部会）	1回
		体育学専門委員会	1回

単位累積加算による学士の学位授与制度に関する調査研究会

第3回 平成11年4月15日（木） ・議事 (1) 単位累積加算による学士の学位授与の在り方等 について (2) その他	第4回 平成11年6月30日（水） ・議事 (1) 単位累積加算による学士学位授与制度に関する 調査研究報告書について (2) その他
--	---

大学評価機関（仮称）創設準備委員会

第1回 平成11年5月25日（火）	第3回 平成11年8月4日（水）
第2回 平成11年7月7日（水）	

大学評価機関（仮称）創設準備委員会専門委員会

第1回 平成11年5月26日（水）	第6回 平成11年7月26日（月）
第2回 平成11年6月22日（火）	第7回 平成11年8月12日（木）
第3回 平成11年6月30日（水）	
第4回 平成11年7月12日（月）	
第5回 平成11年7月21日（水）	

○委員の異動

評 議 員

評議員会（学位授与機構の事業計画及び管理運営に関する重要事項について機構長に助言）の評議員18人のうち17人の任期満了に伴い、12人の方々が退任され、5人の方々が再任されるとともに、新たに6人の方々が就任されました。

・退任（平成11年7月30日任期満了）

氏 名	現 職	在 任 期 間
相 賀 一 郎	大阪府立大学長	平成9年7月31日～平成11年7月30日
阿 部 謹 也	共立女子大学長	平成7年7月31日～平成11年7月30日
飯 島 宗 一	元名古屋大学長	平成3年7月31日～平成11年7月30日
石 川 忠 雄	前慶應義塾長	平成3年7月31日～平成11年7月30日
井 内 慶次郎	日本視聴覚教育協会会長	平成3年7月31日～平成11年7月30日
井 上 和 子	前神田外語大学長	平成3年7月31日～平成11年7月30日
橋 高 重 義	東京理科大学会長	平成3年7月31日～平成11年7月30日
小 山 宙 丸	白鷗大学長	平成9年7月31日～平成11年7月30日
田 中 健 藏	元九州大学長	平成9年7月31日～平成11年7月30日
長 倉 三 郎	前総合研究大学院大学長	平成3年7月31日～平成11年7月30日
人 見 楠 郎	昭和女子大学長	平成3年7月31日～平成11年7月30日
丸 山 工 作	大学入試センター所長	平成9年7月31日～平成11年7月30日

・評議員12人（○新任 *再任）

氏 名	現 職	氏 名	現 職
* 阿 部 博 之	東北大学長	* 戸 田 修 三	日本私立学校振興・共済事業団理事長
* 井 村 裕 夫	科学技術会議議員	* 鳥 居 泰 彦	慶應義塾長
○ 荻 上 紘 一	東京都立大学長	○ 中 嶋 嶺 雄	東京外国語大学長
○ 小 出 忠 孝	愛知学院大学長	○ 長 尾 真	京都大学長
菅 野 卓 雄	東洋大学長	* 蓮 實 重 彦	東京大学長
○ 丹 保 憲 仁	北海道大学長	○ 吉 川 弘 之	放送大学長

運 営 委 員

運営委員会（学位授与機構の事業の運営実施に関し、機構長の諮問に応じる）の運営委員の20人のうち16人の任期満了に伴い、8人の方々が退任され、8人の方々が再任されるとともに、新たに4人の方々が就任されました。

・退任（平成11年7月21日任期満了）

氏 名	現 職	在 任 期 間
市 川 昭 午	国立学校財務センター教授	平成9年7月22日～平成11年7月21日
井 上 祥 平	東京理科大学教授	平成9年7月22日～平成11年7月21日
小 野 旭	東京経済大学教授	平成9年7月22日～平成11年7月21日
喜多村 和 之	国立教育研究所教育政策研究部長	平成3年7月22日～平成11年7月21日
清 水 康 敬	東京工業大学教授	平成3年7月22日～平成11年7月21日
示 村 悦二郎	北陸先端科学技術大学院大学長	平成3年7月22日～平成11年7月21日
平 則 夫	広南会理事長	平成3年7月22日～平成11年7月21日
矢 野 眞 和	東京工業大学教授	平成7年7月22日～平成11年7月21日

・運営委員16人（○新任 ＊再任）（会長：齋藤安俊 副会長：益田隆司）

氏 名	現 職	氏 名	現 職
* 麻 生 誠	放送大学副学長	齋 藤 安 俊	学位授与機構教授
* 磯 部 力	東京都立大学教授	* 舘 昭	学位授与機構教授
* 猪 口 邦 子	上智大学教授	田 中 穂 積	東京工業大学教授
○ 井 下 理	慶應義塾大学教授	○ 支 倉 崇 晴	早稲田大学教授
岩 村 秀	学位授与機構教授	* 益 田 隆 司	東京大学教授
* 馬 越 徹	名古屋大学教授	○ 松 本 女 里	高知女子大学教授
小 野 嘉 夫	学位授与機構教授	* 村 上 陽 一 郎	国際基督教大学教授
* 黒 羽 亮 一	常磐大学教授	○ 山 本 眞 一	筑波大学教授

審査委員

審査会（学位授与機構の審査並びに大学以外の教育施設に置かれる課程の認定及び短期大学・高等専門学校専攻科の認定の審査を行う）の審査委員20人全員の任期満了に伴い、12人の方々が退任され、8人の方々が再任されるとともに、新たに11人の方々が就任されました。

・退任（平成11年3月31日任期満了）

氏名	現職	在任期間
井上祥平	東京理科大学教授	平成3年7月26日～平成11年3月31日
岩井保	近畿大学教授	平成3年7月26日～平成11年3月31日
落合卓四郎	東京大学教授	平成9年8月1日～平成11年3月31日
小野旭	東京経済大学教授	平成5年7月1日～平成11年3月31日
黒羽亮一	常磐大学教授	平成3年11月15日～平成11年3月31日
小島操子	大阪府立看護大学教授	平成9年8月1日～平成11年3月31日
島田淳子	お茶の水女子大学教授	平成9年8月1日～平成11年3月31日
高萩保治	日本大学教授	平成7年4月1日～平成11年3月31日
田丸徳善	大正大学教授	平成7年4月1日～平成11年3月31日
当麻喜弘	東京電機大学教授	平成3年7月26日～平成11年3月31日
矢崎義雄	東京大学教授	平成7年7月1日～平成11年3月31日
和栗雄太郎	福岡大学教授	平成3年7月26日～平成11年3月31日

・審査委員19人（○新任）（会長：岩村 秀 副会長：石川隆俊）

氏名	現職	氏名	現職
○ 秋山和夫	山陽学園大学教授	○ 多田邦雄	横浜国立大学教授
○ 石川隆俊	東京大学教授	館 昭	学位授与機構教授
岩村秀	学位授与機構教授	利光功	東京工芸大学教授
○ 小野嘉夫	学位授与機構教授	野村豊弘	学習院大学教授
兼松顯	名城大学教授	支倉崇晴	早稲田大学教授
○ 北原和夫	国際基督教大学教授	○ 樋口龍雄	東北大学教授
○ 倉田忠男	お茶の水女子大学教授	○ 松本女里	高知女子大学教授
小林功	群馬大学教授	○ 若林久嗣	東京大学教授
齋藤安俊	学位授与機構教授	○ 渡辺馨	日本大学教授
○ 佐々木毅	東京大学教授		

大学評価機関（仮称）創設準備委員

委員16名（委嘱期間 平成11年5月25日～平成12年3月31日）（◎委員長）

氏 名	現 職	氏 名	現 職
阿 部 博 之	東北大学長	小 林 陽太郎	富士ゼロックス(株)代表取締役会長
阿 部 充 夫	東京国立博物館長	田 中 弘 允	鹿児島大学長
猪 口 邦 子	上智大学教授	丹 保 憲 仁	北海道大学長
◎ 井 村 裕 夫	科学技術会議議員	鳥 居 泰 彦	慶應義塾大学長
荻 上 紘 一	東京都立大学長	永 井 順 國	女子美術大学教授
笠 見 昭 信	(株)東芝取締役専務	長 尾 真	京都大学長
木 村 孟	学位授与機構長	中 村 桂 子	JT生命誌研究館副館長
小 出 忠 孝	愛知学院大学長	蓮 實 重 彦	東京大学長

大学評価機関（仮称）創設準備委員会専門委員

・委員12名（委嘱期間 平成11年5月26日～平成12年3月31日）（◎委員長）

氏 名	現 職	氏 名	現 職
天 野 郁 夫	国立学校財務センター研究部長	川 口 昭 彦	東京大学教授
石 村 雅 雄	京都大学助教授	◎ 木 村 孟	学位授与機構長
伊 藤 文 雄	青山学院大学国際政治経済学部長	齋 藤 安 俊	学位授与機構審査研究部長
内 田 博 文	九州大学教授	館 昭	学位授与機構教授
岡 田 益 男	東北大学教授	安 原 義 仁	広島大学教授
金 子 元 久	東京大学大学総合教育研究センター長	山 本 眞 一	筑波大学大学研究センター長

○人事異動

研究教育職員

発令年月日	氏名	異動内容		
(審査研究部長併任)				
11. 4. 1	齋藤安俊	審査研究部長	併任	審査研究部教授 継続 (~13.3.31)
(転出)				
11. 3. 31	支倉崇晴	審査研究部教授	辞職	(早稲田大学教授へ)
(転入)				
11. 1. 1	濱中義隆	審査研究部助手	採用	
11. 4. 2	小野嘉夫	審査研究部教授	採用	前東京工業大学教授
11. 7. 1	六車正章	審査研究部教授	転任	文部省学術国際局主任学術調査官 (12. 3. 31まで併任)
11. 7. 1	吉川裕美子	審査研究部助教授	採用	
(配置換)				
11. 6. 16	館昭	大学評価機関(仮称) 創設準備室教授	配置換	審査研究部教授から (12.3.31まで併任)
(客員教授・客員助教授)				
11. 3. 31	井上祥平	客員教授	任期満了	東京理科大学教授
11. 3. 31	山崎美貴子	客員教授	任期満了	明治学院大学教授
11. 4. 1	井下理	客員教授	名称付与	慶應義塾大学教授 新規 (~12. 3. 31)
11. 4. 1	支倉崇晴	客員教授	名称付与	早稲田大学教授 新規 (~12. 3. 31)
11. 4. 1	田中雅文	客員助教授	名称付与	日本女子大学助教授 継続 (~12. 3. 31)
11. 4. 1	山田礼子	客員助教授	名称付与	プール学院大学助教授 継続 (~12. 3. 31)

事務職員（平成11年4月1日付け異動）

氏名	職名	(旧職名)
(転入)		
西山 晋	総務課長	(奈良先端科学技術大学院大学総務部庶務課長)
多田 浩	総務課企画係長	(東京医科歯科大学庶務部人事課職員掛 職員主任)
永山 雅美	総務課予算管理係長	(東京工業大学経理部主計課)
宮倉 尚之	学務課認定審査係長	(文部省高等教育局学生課庶務係主任)
村石 昌昭	学務課学修審査2係長	(文部省高等教育局学生課厚生係主任)
井上 博司	学務課認定課程係長	(横浜国立大学経済学部教務係教務主任)
成相 圭二	総務課(庶務係)	(島根医科大学総務部会計課 →11.4.1文部省高等教育局大学課)
保坂 義則	総務課(経理監査係)	(東京工業大学施設部企画課)
齋藤 祐司	学務課(学修審査1係)	(東京医科歯科大学難治疾患研究所)
(転出)		
徳永 富士夫	福島大学庶務課長	(総務課長)
須田 和昭	文部省大臣官房総務課 文書管理班資料第一係長	(総務課企画係長)
大西 真一	文化庁文化部芸術文化課 支援推進室指導普及係長	(学務課認定審査係長)
熊木 洋	横浜国立大学学務部学生課専門職員	(学務課認定課程係長)
内藤 聡	文部省高等教育局大学課大学入試室	(総務課(庶務係))
(昇任)		
伊東 陽子	総務課庶務係長	(総務課庶務係主任)
(配置換)		
山口 達也	総務課経理監査係長	(総務課会計係長)
坂本 行隆	学務課学修審査1係長	(学務課学修審査係長)

・大学評価機関（仮称）創設準備室

発令年月日	氏名	異動内容
11.4.1	木村 孟 室長	併任 学位授与機構長 (～12.3.31)
11.6.16	館 昭 教授	配置換 (審査研究部教授 (12.3.31まで併任))
11.4.1	中島 潔 主幹	配置換 (山梨大学庶務課長)

す ず か け 散 策

「新しい途」に向けて

学位授与機構 審査研究部教授

小野 嘉夫

本年4月から、学位授与機構の一員に加えていただきました。それまでは、東京工業大学（大岡山キャンパス）におりました。専門は応用化学（触媒化学）です（でした?）。

簡単に自己紹介から。東京生まれ。小学校は静岡県で入学、奈良市で卒業。中学は奈良学芸大学付属、高校は河内の八尾高校に入学、和光学園を経て、都立日黒高校を卒業。代ゼミ一期生を経て、東京工業大学に入学。以後、定年まで卒業できず、学部生、大学院生、助手、助教授、教授として大岡山キャンパスで約40年を過ごす。この間、プリンストン大学に博士研究員として2年9ヶ月滞在。触媒学会・ゼオライト学会の元会長。なぜか、試験と縁が深く、東京工大で学部、大学院における入試問題作成のほか、大学入試センターに4年かかわり、人事院の国家公務員試験の出題も3年、そして、また。

というわけで、学位授与機構の置かれている東京工業大学長津田キャンパスは、これまでも、評議会などで年に数回は訪れてきたところです。また、資源化学研究所をはじめ、化学分野の友人、後輩も多く（さすがに、先輩はいなくなりましたが）、場所的には全く違和感のない所で新しいスタートを切ることができたのは幸せでした。

しかし、仕事の方はすべて初体験ですので、これ

からしっかりと勉強していかなければならないことばかりです。大体、学部、大学院に在籍して、学士、修士、博士とトコロテン式にいただいた者としては、これまで、「学位をとる意味」などということは、正直のところ、じっくりと考えたことはありませんでした。この点をよく考えつつ、意欲ある「学生」の方々のお役に立つ仕事ができれば、幸いと考えております。

学位授与機構にきて、すでに約5ヶ月が経ちました。4月期出願の学士、修士志望の皆さんの審査過程がほぼ一段落し、実務の一端が頭に入りつつあるところです。審査の陰には、事務局の多忙な毎日があることも知りました。私も、「新しい途」を探りつつ、機構のためにも、自分のためにも、できるだけ努力をしたいと考えております。どうぞ、よろしく。

おの・よしお 昭和14年生 工学博士

東京工業大学名誉教授

平成11年3月まで東京工業大学大学院理工学研究科教授、平成11年4月から現職

専門：触媒化学

新任の御挨拶

学位授与機構 審査研究部教授

六 車 正 章

このたび、7月1日付けで審査研究部の教授に着任致しました。といっても、引き続き9月一杯までは前職を併任するというので、実質的な勤務の開始は10月1日からということになっております。その間、皆様にいろいろと余計な手間をおかけすることになりますが、どうかよろしく願い申し上げます。

「六車（むぐるま）」という姓は関東では珍しいようで、よく「ろくしゃ」とか「むつぐるま」ですかとか尋ねられますが、香川県の東部が発祥の地で、関西ではそれほど珍しい姓ではありません。土佐の長宗我部が四国統一を果たしたときに、やられた方の一族の末裔ということになっております。

昭和47年に文部省に入省以来、前職の学術国際局主任学術調査官まで、文部省以外では岐阜県教育委員会事務局、放送大学、国文学研究資料館、国立乗鞍青年の家での勤務も通して、終始一貫事務職として過ごしてきましたが、このたび、図らずも教授職と相成りました。例えて言えば、川魚が初めて大海に放り込まれたようなもので、期待と不安で身の引き締まる思いがするというのが正直なところです。

中学生のときから続けてきたプラスチック模型作り（もっとも製作そのものは目下開店休業中）と、乗鞍青年の家のときに飛騨高山で体得した溪流釣り（現在は専ら青梅～奥多摩間で実演中）の二つについては、実技指導も含めてそれなりの自信を持っておりますが、研究職の世界は、せいぜい外側から垣間見たことがあるという程度です。

まだ見習いで何回かの専門委員会に出席させてもらっている段階での感想としては、その中で放送大学での単位修得がかなりの比重を占めていることを拝見し、かつて開学間もない放送大学において、学生の履修に関する諸課題の解決に一丸となって当たっていった日々のが思い起こされ、誠に感慨深いものがあります。

いずれにしても、現在は、学位授与機構を取り巻く状況も含め、諸々の事柄について、大きな変動の波が押し寄せてきております。

とりあえずは、海水の浸透圧に慣れるところから始めなければなりません、関係の皆様方の御指導、御鞭撻のよろしきを得て頑張りたいと存じますので、重ねてよろしく願い申し上げます。

むぐるま・まさあき 昭和22年生

文部省学術国際局主任学術調査官（平成12年3月まで併任）から、平成11年7月に現職就任
専門：教育行政

新任の御挨拶

学位授与機構 審査研究部助教授

吉川 裕美子

「遍歴時代」(Wanderjahre)という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか。今(1999)年、生誕250年を迎えた文豪ゲーテの小説『ヴィルヘルム・マイスターの修行時代』とその続編『遍歴時代』からご存知かもしれません。中世ヨーロッパにおいては、職人はもとより大学生の間でも、各地を巡って歩く遍歴の旅がひろく行なわれていました。それは当時の政治経済状況を反映する時代の産物であったにせよ、新しい知識・技術を習得し、人格を陶冶する上で大きな役割を担っていたことは疑いなくでしょう。こうした伝統はいまなおドイツの大学に受け継がれ、学生が卒業までの間に複数の大学を移動する転学は珍しくありません。

これまでの私の経歴を振り返ってみますと、はかrazもこの遍歴の旅になぞらえられる気がします。大学の学部と大学院とでは留学を挟んで専門分野も機関も変わり、学位取得後にも異なる高等教育機関で研究する機会をいただきました。ときに日本社会の年齢主義を感じながらも、その折々に道を選択し進んでこられましたのは、内外の諸先生方との出会いに恵まれ、周囲の方々に支えていただいたからにほかなりません。現在、高等教育研究を専門とし、とくに日独比較の観点から研究をしていますのも、こうした経歴と大いに関係しています。先進諸国は高等教育制度の多様さに反して類以の課題に直面していますが、その解決にあたって他国の状況を合わせ鏡と捉え、社会的、政治経済的、文化的側面に留意しながら分析する——そこに比較研究の意義があると考えます。

日本の高等教育が大衆化し、誰にでも高等教育の機会が保障されるユニバーサル段階へと拡大が進むにつれて、各人が人生の方向を決める時期はより多様化していくと思われます。しかも終身雇用、年功序列、新規一括採用といった日本型の雇用慣行が徐々に変化していくなかで、個人の技術・能力をあらゆる指標として資格の重要性は高まりこそすれ、失われることはないでしょう。そもそも中世の人々が遍歴した一つの動機は、資格の取得にありました。職人は親方の資格を得る前提として諸国修行の旅に出、学生は学位という資格を目指して大学を旅したのです。

このたび学位授与機構審査研究部の一員に加えていただくことになり、私の遍歴時代は一幕を閉じることになりました。しかし、もちろんこれで修行の旅が終わったわけではありません。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

よしかわ・ゆみこ 昭和39年生 博士(学術)

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科助手、日本学術振興会特別研究員を経て、平成11年7月から現職

専門：比較高等教育論

学位授与機構教職員

(平成11年8月1日現在)

機 構 長 木 村 孟

審査研究部

審査研究部長・教授	齋藤安俊	客員教授	井下理
教授	岩村秀夫	客員教授	支倉崇晴
教授	小野嘉夫	客員助教授	田中雅文
教授 (併)	館昭章	客員助教授	山田礼子
教授	六車正章		
助教	橋本敏市		
助教	吉川裕美子		
助教	手濱中義隆		
助教	森利枝		

管理部

管理部 部長	井上明	学務課 長	松田栄二
総務課 長	西山晋吉	課長補佐	伊藤二亘
課長補佐	宗片佐吉	認定審査係	
庶務係 長	伊東陽子	事務官	宮倉尚之
事務官	成相圭子	〃	樋口壮央
事務補佐員	磯村桂子	学修審査1係	牧田夏木
〃	古河尚子	事務官	坂本行隆
〃	川野キミ	〃	石橋和哉
企画係 長	多田浩	事務補佐員	齋藤祐司
予算管理係 長	永山雅美	学修審査2係	山本作子
事務官	大久保一博	事務官	村石昌昭
事務補佐員	白石睦子	〃	市川祐千
経理監査係 長	山口達也	認定課程係	長内隆
事務官	駒村高宏	事務官	井上博司
〃	保坂義則		原和敬

大学評価機関 (仮称) 創設準備室

室 長 (併)	木村孟
教授	館昭
主幹	中島潔
事務補佐員	宮原由美子

編集後記

- ◇ 「学位授与機構ニュース」第17号をお届けします。
- ◇ 平成11年度4月期の学士の学位授与申請者数は、前年同期と比べ33人増の397人となり、増加傾向は今後も続くものと見込まれます。
専門学校修了者については、今年度から申請の基礎資格が与えられたばかりですが、今回はこれに該当する申請者22人も含まれています。
- ◇ 「機構の窓」にお示ししましたとおり、本年7月をもって、大部分の評議員及び運営委員の先生方が任期を満了されました。評議員会会長の飯島宗一先生をはじめ、このたび退任された多数の先生方には、平成3年の機構創設以来、事業の確立・発展に多大の御尽力をいただきました。厚く御礼を申しあげます。
- ◇ 「すずかけ散策」では、本年4月に着任された小野教授、7月に着任された六車教授及び吉川助教授の各先生方から就任のご挨拶をいただいております。
- ◇ この7月で本機構も創立9年目に入りました。今後とも皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。

(S. N)

編集 学位授与機構広報委員会
〒226-0026
横浜市緑区長津田町4259番地
電話 045-922-6441
Fax. 045-923-0258
HPアドレス
<http://www.niad.ac.jp/>
印刷 (有) 創文社
〒141-0031
東京都品川区西五反田1-4-1
電話 03-3491-8321